社会福祉法人

栃木市社会福祉協議会

Ⅰ　組　織

1　事務所の所在地

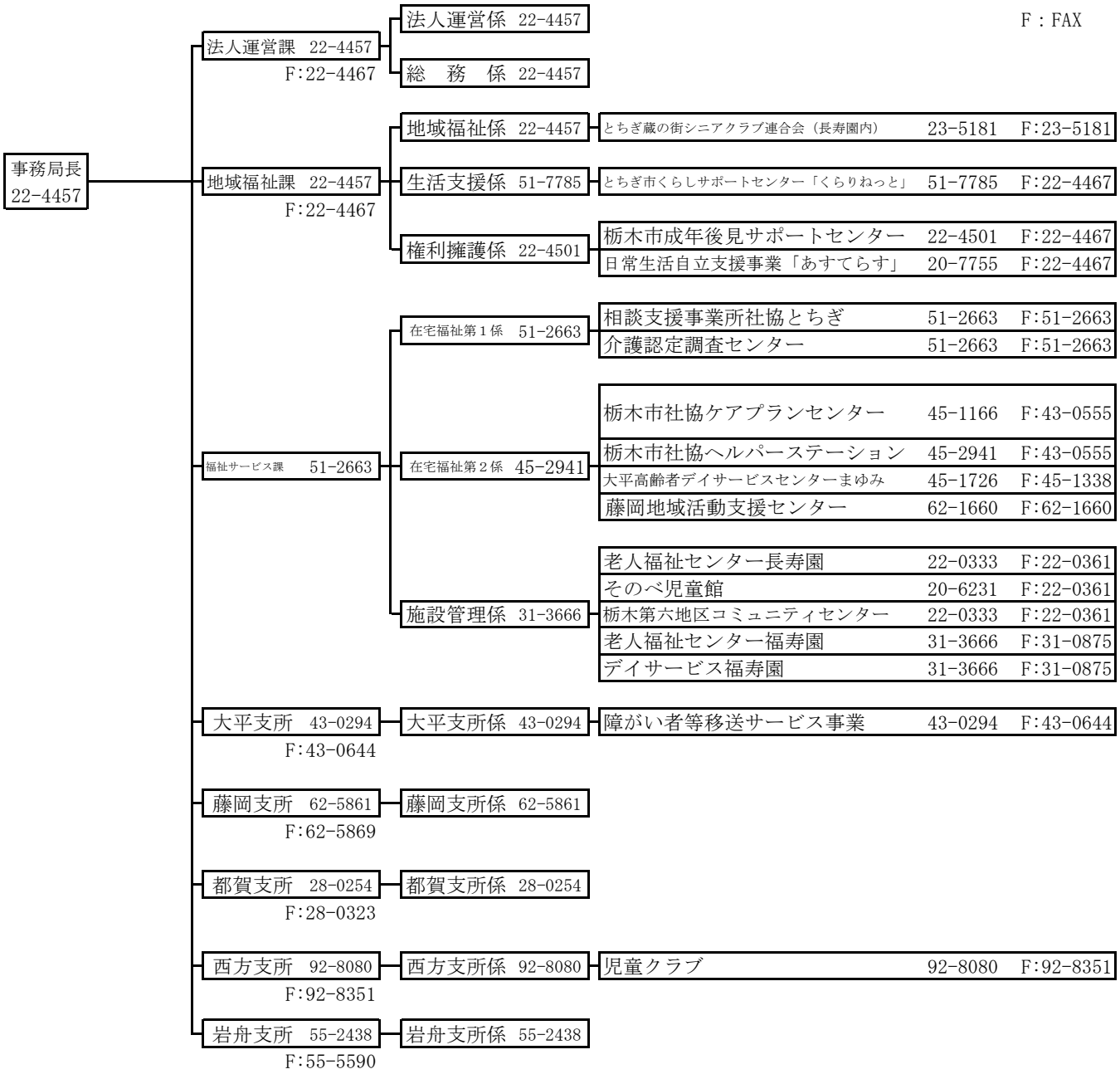
栃木市今泉町２丁目１番４０号（本所）
（大平支所：栃木市大平町真弓１３９６番地）　（藤岡支所：栃木市藤岡町藤岡８１０番地）
（都賀支所：栃木市都賀町原宿５７３番地）　（西方支所：栃木市西方町元３４７番地１）
（岩舟支所：栃木市岩舟町三谷１０３８番地１）

2　名称及び代表者

社会福祉法人　栃木市社会福祉協議会　会長　赤羽根正夫

3　役員及び職員等（令和8年４月１日現在）

理事：１３名（うち、会長１名・副会長３名・常務理事１名）、監事：２名、評議員：２６名
職員：１６７名（内、登録ヘルパー３１名）



事業の概要

本会は地域共生社会の実現に向けた協働の中核を担う組織として、地域住民や関係団体等と連携を深めながら、多様な事業を展開しており、令和７年度は、「重層的支援体制整備事業（参加支援事業）の着実な実行」「身寄りのない人等に対する新たな生活支援の確立」「経営安定化計画からの抽出課題の検討及び実施取組」「第２期地域福祉活動計画の評価及び第３期地域福祉活動計画の推進」の４点を重点目標として掲げ、地域生活課題の複雑化や支援ニーズの多様化が進む中で、地域のつながりの再構築や本会内部の部署連携の強化、組織機構の改編、さらに圏域を超えた広域的な連携・協働の推進を重要な視点として取り組みを進めた。

重層的支援体制整備事業（参加支援事業）では、利用者の特性に応じた新規プランの作成に加え、支援が必要な方の社会参加の場として「ちょこっとジョブ・ちょこっとボランティア応援事業」を展開した。応援事業認定事業者との協働により、地域社会とのつながりの場を創出するとともに、利用者へのサービス終了後も柔軟に伴走しながら、必要に応じて相談できる体制を整えた。

身寄りのない人等に対する新たな生活支援については、本会として持続可能な権利擁護支援パッケージメニューの確立を進めていたところ、国が「日常生活自立支援事業」の拡充方針を示したことを受け、権利擁護の理解促進と利用支援を進めるための「身寄りのない高齢者等の課題に対応するための取り組み」を展開することとし、実施に向けて準備を整えた。

経営安定化計画に基づく課題の検討と実施では、組織が直面する経営課題を体系的に抽出し、中長期的な経営基盤の強化、財務の健全化、業務効率化、人材確保・育成を、財政健全化計画等に基づき総合的に推進した。特に業務効率化の分野では、電子申請システムの導入や会議資料のペーパーレス化を進めるとともに、人材育成では新規採用職員研修用マニュアルの作成などを行い、業務の標準化と省力化に努めた。これらの取り組みにより、事務処理時間の短縮、紙資料の削減、職員の業務理解の向上など、組織全体の生産性向上に寄与した。さらに、これらの取組を通じて、業務プロセスの見直しやデジタルツール活用の意識が職員全体に浸透し、継続的な改善に向けた基盤が整備された。

第２期地域福祉活動計画の評価及び第３期地域福祉活動計画の推進については、コロナ禍で対応が難しい時期を含む第２期の計画期間が終了したことから、その評価を実施した。第３期においても引き続き「共に考え　ともに支え合う　あったかとちぎ」を基本理念として、４つの基本目標を掲げ、計画期間初年度は着実に取り組みを進めた。

今後は、こうした重点事業以外の各種事業も含め、すでに終了した経営安定化計画の理念の一つである『住民参加を主体とした「ともに生きる豊かな地域社会」の実現』に基づき、市、関係機関、関係団体等と協働しながら着実に遂行し、地域福祉の推進に向けた取り組みを一層深化させていくこととする。

１　住民による見守り支え合い活動への支援

（１）重層的支援体制整備事業・生活支援体制整備事業の実施　※受託

地域共生社会の実現と支え合いの地域づくりを進めるため、コミュニティ・ソーシャルワーカーと生活支援コーディネーターを配置し、参加支援事業の実施や地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決を試みる環境の整備（地区懇談会の開催、協議体の設置や活動への支援）、担い手の育成などの取り組みを行った。

ア　参加支援事業（ちょこっとジョブ・ちょこっとボランティア応援事業）の実施

（地域福祉課）

プラン作成数　２１件（新規プラン８件・再プラン１３件）

終結人数　９人　一般就労　１人
就労移行支援　２人
就労継続支援Ｂ型　２人
ユニバーサル就労　１人
地域活動支援センター　１人
サービス終了者　２人

実施回数　２６４回
（ちょこっとジョブ１３５回、ちょこっとボランティア１２９回）

延べ参加人数　４２６人
（ちょこっとジョブ１３２人、ちょこっとボランティア２９４人）

内　容　子ども服の販売と仕分け作業、書類仕分け作業、季節の折り紙入りコーヒーセット作成、チケット・パンフレット作成、缶バッチ製作、各種イベントでの受付・案内、商品整理、デイサービス職員補助等

イ　地区懇談会の開催（地域福祉課、各支所）

地域におけるニーズの把握、生活福祉課題の明確化を進めるとともに、地域住民同士の情報共有を促進することを目的に、各地区社協等に働きかけ、地区懇談会を開催した。

【開催実績】（計２９回、延べ　８７４人）

開　催　日	地域	内容（テーマ等）	参加人数
令和７年 ６月５日（木）	大平地域	大平全体研修 「仲間がいる幸せを感じたい」（講話）	４８人
６月１７日（火）	藤岡地域	栃木市の防災対策について 「事例を通して高齢者の避難について考えよう」（講話・グループワーク）	１１人
７月１０日（木）	大平地域南地区	社会的に孤立している人と防止に向けたアイデアについて（グループワーク）	２３人

７月１７日（木）	都賀地域	地域でのつながりを継続するには。 （グループワーク）	２２人
８月　４日（月）	皆川地区	皆川のお宝を探そう 皆川地域の社会資源の見える化 （講話・グループワーク）	３８人
８月　４日（月）	吹上地区	自分の地域のお宝を探そう 吹上地域がゆるやかにつながるために （講話・グループワーク）	３５人
８月　５日（火）	第一地区	第３期地域福祉活動計画について 「災害発生時、安全に避難させるには」 （講話・グループワーク）	３６人
８月　５日（火）	第六地区	「まちの縁側育みプロジェクトながの」報告 「地域のお宝を探そう」（講話・グループワーク）	４２人
８月　７日（木）	第四地区	「まちの縁側育みプロジェクトながの」報告 「地域のお宝を探そう」（講話・グループワーク）	３４人
８月２８日（木）	大平地域東地区	社会的に孤立している人と防止に向けたアイデアについて（グループワーク）	２２人
８月２９日（金）	藤岡地域	はつらつセンターの紹介（団体代表者による紹介）、はつらつセンター・いきいきサロン代表者等の情報交換（グループワーク）	２５人
９月　３日（水）	第七地区	「まちの縁側育みプロジェクトながの」報告 「地域のお宝を探そう」（講話・グループワーク）	３１人
９月　６日（土）	第二地区	「まちの縁側育みプロジェクトながの」報告 「地域のお宝を探そう」（講話・グループワーク）	１９人
９月１１日（木）	第三地区	「まちの縁側育みプロジェクトながの」報告 「地域のお宝を探そう」（講話・グループワーク）	２４人
９月１１日（木）	大平地域西地区	社会的に孤立している人と防止に向けたアイデアについて（グループワーク）	２３人
１０月　３日（金）	第５地区	「５地区の縁側（お宝）を探そう ～パート２～（講話・個人ワーク）	４０人
１０月　７日（火）	大宮地区	地域の居場所づくり・協力者について （講話・グループワーク）	４６人

１０月１６日（木）	西方地域	高齢者の現状について（説明）、地域の事業・事業所の紹介、居場所づくりと協力者の検討（グループワーク）、協議体について（説明）	３０人
１０月１７日（金）	大宮地区	地域の居場所づくり・協力者について（講話・グループワーク）	３１人
１０月１７日（金）	藤岡地域	事例を通して学ぶ成年後見制度「あすてらすと成年後見制度」（講話・グループワーク）	１５人
１０月２０日（月）	国府地区	地域の居場所づくり・協力者について（講話グループワーク）	２７人
１１月１７日（月）	皆川地区	皆川地域の社会資源の見える化（講話・グループワーク）	２７人
令和８年 １月１７日（土）	寺尾地区	寺尾のいいところ（講話・交流）	３８人
１月２２日（木）	都賀地域	継続可能な「つながりづくり」の方法や課題について（グループワーク）	２９人
１月２６日（月）	吹上地区	吹上地域の自慢できるところ（講話・グループワーク）	４４人
１月２９日（木）	藤岡地域	知ってつながる認知症～身近な人が認知症になったら～（講話・グループワーク）	４２人
２月１８日（水）	国府地区	地域支援困難者について（交流）	２０人
２月１９日（木）	藤岡地域	相手に寄り添う傾聴の基本（講話・グループワーク）	３２人
３月１８日（水）	国府地区	地域課題について（交流）	２０人

ウ　協議体の設置や活動への支援（地域福祉課、各支所）

「地域共生社会」の実現に向けた地域づくりの強化を図るため、住民が主体的に地域課題を把握し、解決に取り組む協議体の設置を地域に働きかけるとともに、各協議体の活動支援を行った。

【各協議体の活動等の状況】※印は令和７年度設置協議体

地域	活動等の状況
第５地区	第２層協議体※ ・協議体について（協議体設置の説明）（参加人数１８人）
大宮地区	第２層協議体 ・協議体会議（２回、延べ参加人数７７人）
国府地区	第２層協議体 ・協議体会議（１回、参加人数２７人）

大平地域	第２層協議体 ・チームオレンジ定例会（２層協議体兼ねる） （２回、延べ参加人数５４人） ・男性介護者の集い及び福祉に関する相談会開催（１２回、延べ参加人数１０２人） ・きらっクスッ同好会(認知機能低下者対象)(4回、延べ参加人数５８人) 第３層協議体（大平南地区） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数８９人） 第３層協議体（大平東地区） ・協議体会議（１０回、延べ参加人数７４人） 第３層協議体（大平西地区） ・協議体会議（４回、延べ参加人数３５人）
藤岡地域	第２層協議体※ ・協議体について（協議体設置の説明）（参加人数１５人）
西方地域	第２層協議体※ ・協議体について（協議体設置の説明）（参加人数３０人）
岩舟地域	第３層協議体（静和） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２１６人） ・買物支援送迎サービス事業の実施（４６回、延べ利用人数１４５人） ・集い・相談の場づくり（わがまるカフェ）実施（６回、延べ参加人数約３７０人うち中学生ボランティア延べ１２　人） ・通学路現場点検の実施（２回） 第３層協議体（岩舟） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２１８人） ・買物支援送迎サービス事業の実施（１２回、延べ利用人数３７人） ・あいさつ運動の実施（５月～２月、延べ参加人数１４８人） ・ながら見守り活動の推進 ・ラジオ体操をとおした世代間交流（５日間、延べ参加人数　１３６人） ・昔遊び（１回、延べ参加人数３８人） ・世代間交流事業の実施（さつまいもの苗植え、芽かき、モルック体験）（３回、延べ参加人数１６７人、うち中学生ボランティア延べ１９人） ・広報紙「我が事・丸ごと」岩舟通信の発行（１回） 第３層協議体（小野寺南） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数１７４人） ・買物支援送迎サービス事業の実施（２１回、延べ利用人数５５人） ・イエロータウン運動（三谷地域）の実施（毎週土曜日） ・コスモスまつり（三谷地域）の開催（１回、参加人数約３６０人、うち中学生ボランティア９人） ・こどもの居場所（１回、延べ参加人数４９人、うち子ども２２人） ・コスモスまつり事前会議（３回）

	・わがまる通信の発行（１回） 第３層協議体（小野寺北） ・協議体会議（１２回、延べ参加人数２２３人） ・買物支援送迎サービス事業の実施（１１回、延べ利用人数４１人） ・地域イベントでのふるさと小野寺かるたの普及・ＰＲ活動（３回） ・小野寺かるた普及、ＰＲ活動のためカレンダー作成・販売 ・オレンジタウンリーフレット作成（１回） ・おのでら北しあわせ通信の発行（２回） 第３層協議体合同（小野寺北、小野寺南） ・協議体合同会議（１０回、延べ参加人数９７人） ・つながるフェスタ in おのでら～災害に備える地域の輪～（来場者２８６人、中学生ボランティア２２人） その他（研修会等） ・岩舟会議（１回、参加人数１８人） ・２層協議体研修会（1日同内容２回実施、参加人数６４人） ・鹿沼市２層協議体情報交換会（３層リーダー等参加１２人） ・ちーむわがまる会議、研修（１１回） ・ちーむわがまる出張福祉相談会の実施（２回）

エ　地区社会福祉協議会への支援強化（地域福祉課、各支所）

地域の状況に応じた福祉活動（交流事業や見守り活動等）を推進している地区社会福祉協議会の運営費及び事業費への補助、事業実施に係る相談への対応、事務支援を行った。

オ　地区社会福祉協議会連絡会の開催（地域福祉課）

地区社会福祉協議会（１７地区）の組織強化や連携を深めることを目的に、地区社会福祉協議会連絡会を開催した。

開催日　　令和７年７月２８日（月）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　第３期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画について
　　各地区社協の活動状況の情報交換
参加人数　１４人

カ　地区社会福祉協議会役員研修会の開催（地域福祉課）

少子高齢化や人口減少に伴い、地域課題が多様化している中、現在「地域共生社会」の実現が求められている。

地区社会福祉協議会の活動が地域にとって、より身近な事業となることが、地域共生社会実現の一助となることを目的として、「地域福祉サポータースタートアップ研修会」を役員研修会とした。

キ　認知症普及啓発イベントへの協力（地域福祉課・藤岡支所・岩舟支所）

地域共生社会及び認知症普及啓発イベント「とちぎオレンジまち活フェスタ」の準備や開催当日の運営協力を行った。

開催日	内容	延べ参加人数	場所
令和７年 １１月１９日（水）	映画「オレンジランプ」上映、認知症セミナー、活動紹介パネル展示、ＶＲ認知症体験、健康チェック、笑いヨガ、各種相談等	２３９人	第６地区コミュニティセンター
令和７年 １１月２０日（木）			藤岡保健福祉センター
令和７年 １２月　２日（火）			岩舟文化会館

ク　コミュニティカフェの開催（地域福祉課、大平支所、西方支所、岩舟支所）

年齢や障がいの有無に関わらず、地域のあらゆる住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら参加できる「地域共生社会」を目指し、地域住民の交流の場・相談の場を目的としたコミュニティカフェを開催した。

（ア）コミュニティカフェ（ふくぴーカフェ）

開催回数　　１２回（毎月第３金曜日）
場　所　　ヤオハン城内店ふれ愛ひろば
内　容　　演奏会、認知症紙芝居、介護等の勉強会等
延べ参加人数　４６２人

（イ）出張版ふくぴーカフェ（ヤオハン城内店以外での開催）

開催回数　　１５回
場　所　　大宮公民館、国府公民館
内　容　　認知症講話、脳トレ、コンサート等
延べ参加人数　４５５人

（ウ）ふくぴーカフェ　ＤＥ　ＴＯＣＨＩＣＯリサイクル

『ＴＯＣＨＩＣＯ日和』（とちぎに住むママのためのフリーペーパー）と共催し、子ども服のリサイクルや障がい者施設のパンの販売等を行った。また、子ども服の売り上げの半分は赤い羽根共同募金の寄附に充てられた。

開催回数　　１２回
場　所　　西方支所　地域交流スペース
内　容　　子ども服リサイクル販売等
延べ参加人数　５８５人
寄附総額　　１３８，３５０円

（エ）ベリーカフェｉｎにしかた

開催回数　　１２回
場　所　　西方支所　地域交流スペース
内　容　　軽体操、リズム歌、シナプソロジー、福祉施設によるパンの販売
延べ参加人数　２５８人

（オ）鑑賞会コミュニティカフェ

楽しい時間の中での交流の場を通じ、人と人とのつながり、見守りや支え合いが生まれる地域を目指し、鑑賞会コミュニティカフェを開催した。

開催日　　令和８年３月２９日(日)
場　所　　ふるさとふれあい館　研修室・ロビー
内　容　　地域のボランティアによる文化芸能鑑賞会、
　　カフェコーナー、ふくし困りごと相談会、地域の
　　お宝パネル展示
参加人数　　２００人

（カ）ＪＡしもつけコミュニティカフェ

開催回数　　３回（偶数月の年金支給日）
場　所　　ＪＡしもつけ岩舟支店
内　容　　福祉施設による野菜、パン等の販売、お茶の試飲・販売、
　　認知症啓発活動によるコーヒーの提供
延べ参加人数　約５０人

ケ　地域の認知症カフェ（オレンジカフェ）への協力（地域福祉課、各支所）

認知症の人だけでなく、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを推進するため、地域の社会福祉法人等が開催する認知症カフェ（オレンジカフェ）への協力を行った。

課支所名	回数	内容
地域福祉課	１９回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
大平支所	４８回	開催当日の運営協力、協力ボランティアの調整
藤岡支所	１２回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
都賀支所	１２回	開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力
西方支所	２１回	開催に向けた準備・打ち合わせ・開催当日の運営協力
岩舟支所	４５回	新規立上げ支援、開催に向けた準備・打ち合わせ、開催当日の運営協力

コ　おおひらシニアの学習塾（大平支所）

地域で協働したイベントの企画、開催を通じて、地域主体の福祉活動の推進と継続した話し合いの場の構築を図ることを目的に、地域の福祉施設、地域住民、ボランティア、地域包括支援センター、本会が協働してシニアの健康・福祉イベントを企画し、大平西公民館で開催した。

開催日	実施内容	参加人数
令和７年 ４月２４日（木）	終活はじめませんか？～エンディングノートを書いてみましょう～	２５人
７月　３日（木）	夏バテ予防体操～暑さに負けない体力づくり～	２２人
１０月２３日（木）	ミニ福祉機器展～生活に必要な福祉用具を知ろう～	２８人
令和８年 １月２２日（木）	認知症予防体験～むかし遊びに触れ脳の活性化を図ろう～	２４人

※参加人数は、協力ボランティアも含む人数

サ　親子ふれあいサロンの開催（地域福祉課）

自宅では体験できない遊びや他の参加者・スタッフとの交流により、子育ての不安や悩みを話し合い、子育てを楽しみながらの仲間づくりを目的に、親子ふれあいサロンを開催した。

開催回数　　１１回

延べ参加人数　５５６人（親３２７人、子２２９人）

シ　小学生の「茶道体験」（大平支所）

子どもたちが「茶道」の心得や所作を学び日本の伝統文化に関心を高めることを目的に開催した。

開催日　　令和８年１月２４日（土）

場　所　　ふるさとふれあい館

内　容　　お茶の飲み方・作法について

講　師　　茶の湯「和敬」

参加人数　　１５人（親５人・子１０人）

ス　会食会（サロン）の開催（藤岡支所）

地域のひとり暮らし高齢者を対象に、ボランティアの協力を得て、レクリエーションや傾聴、会食等を行う会食会（サロン）を開催した。

また、親しみやすい名称にするため、ネーミング募集をし、選考の結果、令和８年度より『ハッピーサロンふじおか』と決定した。

開催回数　　１２回

延べ参加人数　２２１人

延べ協力人数　２５２人（送迎・運営・給食・傾聴ボランティア、講師等）

セ　ふれあい交流会（サロン）の開催協力（大平支所）

地域のひとり暮らし高齢者等を対象にレクリエーションや教養講話を行う大平隣保館のふれあい交流会に職員派遣の開催協力を行った。

開催回数　　１２回

延べ参加人数　１６３人

ソ　「人とのつながりからはじまる地域づくり」の開催（大平支所）

各種趣味活動をはじめ、興味・関心を同じくする住民同士が交流できる機会を提供することで、「人と人」及び「人とグループ（居場所）」をつなぎ合わせることを目的として、開催したものである。多様な活動を通じて、多くの住民が互いに関わり合い、見守りや支え合いの関係性を構築できる地域づくりを目指した。

開　催　日	一部	二部（共通）	参加人数
令和７年 ６月２５日（水）	正しい歩き方講座	・人とのつながりがあることは、健康寿命に大きく影響することや困った時に助け合える関係性を構築する大切さの説明（チェックシート含む） ・会員募集サークルの紹介等	１６人
１０月２９日（水）			１４人

タ　地域福祉サポーター養成講座の開催（地域福祉課）

年齢や障がいの有無に関わらず、すべての地域住民が自分らしく、それぞれに役割を持ちながら、社会参加できる「地域共生社会」を目指し、地域福祉の担い手の育成を目的に、地域福祉サポータースタートアップ研修会及びスキルアップ研修会を開催した。

・スタートアップ研修会

開催日　　令和８年２月９日（月）
場　所　　栃木保健福祉センター
講　師　　全国コミュニティライフサポートセンター
　　理事長　池田昌弘 氏
参加人数　３１人（参加者には地区社協役員研修会参加者を含む）

・スキルアップ研修会

開催日　　令和８年２月９日（月）
場　所　　栃木保健福祉センター
講　師　　全国コミュニティライフサポートセンター
　　理事長　池田昌弘 氏
参加人数　２１人

チ　地域のお宝認定証授与式の開催（地域福祉課）

地域で行われている支え合い地域活動（地域のお宝）を発見し、活かし、地域の中で孤立せず安心して生活していける「つながりある地域づくり」のために、地域活動を認定し啓発を行う。

開催日　　令和８年３月１２日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
受賞者　　８団体　１７人

ツ　チームオレンジへの支援（地域福祉課・各支所）

認知症の方が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指して活動しているチームオレンジの活動支援を行った。

栃木地域　　支援回数　１２回
大平支所　　支援回数　４８回
藤岡支所　　支援回数　１２回
都賀支所　　支援回数　　９回（７月から）
西方支所　　支援回数　２１回
岩舟支所　　支援回数　１２回

テ　地域サロン支援事業の実施（大平支所、岩舟支所）

市民が中心となって開催する地域サロンの支援を目的に、レクリエーション機材の貸し出しや協力ボランティアの調整を行った。

ト　移動販売の実施（藤岡支所）

運転免許証の返納等の理由により交通手段の確保が難しい方や、日常の買い物に不便を抱える住民を支援することを目的として、藤岡地域部屋地区の自治会に

対し、地元商店の協力を得ながら、移動販売車を定期的に運行し、買い物支援を実施した。

実施回数　　１０回

延べ利用人数　９２人

ハ　地域交流スペース活用事業の実施（西方支所）

地域の団体や住民が自由に交流できる場の提供を目的に、西方支所内地域交流スペースを活用した交流事業（ベリーカフェ等）の実施や地域交流スペースの開放・貸出を行い、団体の会議やイベント、趣味のサークル活動や井戸端会議など、様々な用途で利用いただいた。

開 設 日　　月曜日～金曜日（原則、祝日及び年末年始を除く）

開設時間　　午前９時～午後５時

【活用実績】

内　　容	利用人数等
ベリーカフェ in にしかた	延べ２５８人
ふくぴーカフェ　ＤＥ　ＴＯＣＨＩＣＯリサイクル	延べ５８５人
オレンジカフェ in にしかた	延べ３５６人
一般利用（自由に立ち寄り）	延べ　２８人
貸出利用（団体の会議、サークル活動等）	１１団体、延べ６１７人

ヒ　いきいき美容交流会の開催（大平支所）

スキンケアやメイクなど化粧を通じて、住み慣れた地域の中で閉じこもりがちな高齢者等を対象に外出の機会を増やし、心身機能やＱＯＬの維持向上などのフレイル予防と参加者同士の交流時間を設けて「人とのつながり」の場を作ることを目的に開催した。

開催日　　令和８年１月３０日(金)

場　所　　ふるさとふれあい館

内　容　　いきいきセミナー「いきいき美容コース」
　　オレンジカフェの説明及びグループワーク

講　師　　資生堂ジャパン株式会社　長田　綾 氏
　　金田裕美 氏

参加人数　１８人

（２）地域福祉への理解と関心を高める広報啓発活動

ア　広報紙の発行やホームページ・フェイスブックの運用（地域福祉課）

ふくぴーだよりの発行（年６回）やホームページ、フェイスブックを通し、本会の事務事業を始めとした福祉に関する情報を広く市民に提供した。

イ　報道機関等への情報提供（本所、各支所）

各種事業の開催情報を報道機関等に提供し、ＰＲ強化を図った。

情報提供回数　２４件

ウ　マスコットキャラクターの貸出（地域福祉課）

本会の認知度を上げることを目的に、マスコットキャラクター「ふっくん・ぴーちゃん」を活用してイベントへの貸し出しを行った。

貸出件数　　３件

エ　福祉功労者等表彰式の開催（法人運営課）

永年福祉活動に携わっている方等、福祉の向上に功績のあった方へ表彰状や感謝状の贈呈を行い、福祉意識の更なる高揚と啓発に努めた。

開催日　　令和８年３月１２日（木）

場　所　　栃木保健福祉センター

受賞者　　個人８７人

（民生委員・児童委員４４人、社会福祉施設団体等２８人、ボランティア１３人、大口寄附２人）

団体１４団体

（優良団体４団体、大口寄附６団体、永年寄附４団体）

オ　各種イベントの開催、協力

福祉やボランティア活動に関する啓発活動、市民の交流を図ることを目的に、ふれあい館作品展示交流会の開催や福祉まつりの開催支援を行った。

（ア）ふれあい館作品展示交流会（大平支所）

開催日　　令和７年５月２４日（土）、２５日（日）

場　所　　ふるさとふれあい館

内　容　　ボランティア団体の活動紹介及びふれあい館利用団体作品展示、認知症 VR 体験会、ベジチェック測定会、キーホルダーづくり、姿勢・体幹力チェック、囲碁体験等

（イ）藤岡ふくしまつり（藤岡支所）

開催日　　令和７年１０月１２日（日）

場　所　　藤岡文化会館・藤岡公民館

内　容　　福祉団体・ボランティア団体による各種コーナー、ふくしバザー等

（ウ）岩舟「我が事・丸ごと」ふくしまつり（岩舟支所）

開催日　　令和７年１１月９日（日）

場　所　　ＣＩＴＹ　ＧＹＭ＆ＳＰＡ遊楽々館 ユニバーサル広場

内　容　　各協議体・地域の各種団体によるブース出展

（我が事・丸ごと事業ＰＲ、バザー、介護体験等の各種体験、飲食ブース等）、ステージイベント（ポスター表彰、ヒーローショー、小野寺大判かるた大会等）等

（３）市民同士の活動の促進

ア　ふれあい在宅福祉サービス事業の実施（地域福祉課、各支所）

住民同士の助けあい活動を高齢者や障がい者等への在宅福祉サービスに結び付けた住民参加型の在宅福祉サービス事業を実施した。

協力会員数　４６人　　利用会員数　４４人

派遣回数　　１，０００回

（内訳）

家事援助	５８２回
身の回りの軽度の世話	１６１回
外出の付き添い	５４回
留守番・話し相手	１３回
買い物	１９０回

イ　福祉団体等の運営支援

（ア）とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会事務局（地域福祉課）※受託

シニアクラブ支部同士の円滑な運営と事業の推進を図るため、職員がとちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の事務局業務に従事した。

（イ）福祉団体等の事務局及び活動支援（地域福祉課、福祉サービス課、各支所）

福祉団体の運営を支援するため、下記の福祉団体の事務局を担い、事務支援などを行った。

課支所名	団体名
地域福祉課	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会及び同栃木支部
大平支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会大平支部、栃木市身体障害者福祉会連合会大平支部、大平地区社会福祉協議会
藤岡支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会藤岡支部、栃木市身体障害者福祉会連合会藤岡支部、藤岡町給食ボランティアの会、藤岡地区社会福祉協議会、藤岡町傾聴ボランティア「ひだまり」
都賀支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会都賀支部、栃木市身体障害者福祉会連合会都賀支部、都賀町心身障害児者父母の会、傾聴ボランティア「かたつむりの会」、栃木市都賀手話サークル「スマイル」、都賀地区社会福祉協議会、読み聞かせボランティア「なかよし」、まちづくりネットワーク「つが」
西方支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会西方支部、西方町介護者の会、西方町ボランティア連絡協議会、ひとり暮らし高齢者の会「すみれ会」、西方地区社会福祉協議会、西方地区社会福祉協議会真名子支部
岩舟支所	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会岩舟支部、栃木市身体障害者福祉会連合会岩舟支部、岩舟地区社会福祉協議会、岩舟町傾聴ボランティア「ぴーちゃん」
福祉サービス課	栃木市藤岡地域活動支援センター親の会

ウ　世代間交流事業の推進（地域福祉課）

児童と高齢者の世代間交流を推進するため、世代間交流事業を実施するシニアクラブを募り、事業実施の補助を行った。（１８団体）

エ　ふれあい交流事業の実施（地域福祉課）

障がいのある方もない方も一緒に交流することで、地域に住む人々が互いの理解を深め、助け合いの気持ちを育むことを目的に、交流事業を実施した。

実施日　　令和７年１２月１３日（土）
場　所　　栃木市勤労者体育センター
内　容　　車椅子バスケットボール
参加人数　２５人

オ　地区社協等のいきがいサロン、子育てサロンへの補助

（ア）いきがいサロン事業の推進（地域福祉課）

ひとり暮らし高齢者等の引きこもり防止や生きがいづくりを目的に、いきがいサロン事業を実施する地区社会福祉協議会への補助を行った。（６団体）

（イ）子育てサロン事業の推進（地域福祉課）

子育て家庭の親子の交流や育児に関する情報交換、仲間づくりの場を提供し、育児に対する不安の軽減を図ること目的として、子育てサロン事業を実施する地区社会福祉協議会に対し補助を行った。（１団体）

カ　ふれあい弁当事業（配食サービス）の実施（大平支所）

地域の見守りが必要な高齢者世帯を対象として、民生委員・児童委員やボランティアの協力を得ながら、弁当の調理および宅配を行い、見守り活動を実施した。

実施回数　　６回
実利用人数　３５人
延べ配食数　１８５食

キ　マイクロバスの貸出（地域福祉課）

福祉団体等の活動を支援することを目的に、本会が所有するマイクロバスの貸し出しを行った。（貸出回数　４１回）

（４）福祉サービスの提供

ア　児童関係

（ア）放課後児童健全育成事業の実施（西方支所）※受託

放課後児童の健全育成と保護者の就労支援を目的に、西方児童クラブ・第２西方児童クラブ・真名子児童クラブを運営した。

	西方 児童クラブ	第２西方 児童クラブ	真名子 児童クラブ	計
開　設　日	月～土（祝日、年末年始除く）			－
開設日数	２５４日	２５４日	２５４日	－
実利用人数	５２人	４０人	２１人	１１３人
延べ利用人数	５，１２９人	６，０１２人	３，６５０人	１４，７９１人

イ　高齢者関係

（ア）車椅子貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車椅子を必要とする方の屋内外移動の負担軽減を図ることを目的に、車椅子の貸し出しを行った。

	地域福祉課	大平支所	藤岡支所	都賀支所	西方支所	岩舟支所	計
貸出回数	７５	７４	３９	１６	１７	２８	２４９

（イ）車椅子移送車貸出事業の実施（地域福祉課、各支所）

車椅子を利用する高齢者や身体障がい児者の外出時（通院、通所、外出等）の負担軽減を図ることを目的に、車椅子のまま乗降できる車両の貸し出し（燃料費のみ実費負担）を行った。

課支所名	貸出回数	貸出日数	実利用人数
地域福祉課	９６回	１５５日	３３人
大平支所	１１４回	１５４日	４９人
藤岡支所	７８回	１１０日	３０人
都賀支所	８２回	１３０日	３１人
計	３７０回	－	１４３人

（ウ）地域包括支援センター運営協力業務の実施（法人運営課）※受託

職員３人（社会福祉士２人、介護支援専門員１人）が、栃木市内の地域包括支援センターの業務に従事した。

ウ　障がい者関係

（ア）障がい者等移送サービス事業の実施（大平支所）

公共交通機関の利用が困難な方を対象に、車いすやストレッチャーの使用等による市外の医療機関への通院、入院等の移送サービスを実施した

運行日数　　１６７日

実利用人数　　６３人

利用回数　　４７３回

（イ）栃木市障がい児者相談支援センター事業の実施（法人運営課）※受託

障がい者相談支援専門員として職員２人が、栃木市障がい児者相談支援センターの業務に従事した。

（ウ）障がい者等移動支援事業の実施（福祉サービス課）※受託

屋外での移動が困難な障がい者等を対象に、自立生活及び社会参加促進のため、ホームヘルパーによる外出支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	１人	１人	２人
派遣回数	１５回	１回	１６回
派遣時間	１６時間	５時間	２１時間

（エ）栃木市くらしだいじネット緊急時支援事業（福祉サービス課）※受託

日頃介護している方が急病にかかるなどの理由により、自宅で一人で過ごせない障がい者等を対象に、訪問による支援を行った。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	０人	１人	１人
派遣回数	０回	２回	２回
派遣時間	０時間	３時間	３時間

エ　その他

（ア）法律相談の実施（弁護士）（大平支所）

市民からの法律的な問題に対して、専門家である弁護士が助言等を行った。

実施日　　毎月第１、第３火曜日（午前９時から正午）

場　所　　ふるさとふれあい館

相談件数　１１６件

【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
不動産（土地等）	１３件	金銭トラブル	２７件	家族	５件
相続	２８件	離婚	１０件	近隣トラブル	１２件
事故	５件	職業・生業	４件	その他	１２件

（イ）産前産後ヘルパー派遣事業の実施（福祉サービス課）※受託

日中、家事及び育児を行う者が他にいない妊婦等に対して、ホームヘルパーを派遣して、家事や育児の支援を実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	８人	０人	８人
派遣回数	４９回	０回	４９回
派遣時間	５４時間	０時間	５４時間

２　ボランティア活動への参加促進と支援

（１）ボランティアセンターの運営

ア　ボランティアの相談・登録（地域福祉課、各支所）

より多くの市民が気軽にボランティア活動へ参加できるようにするため、ボランティアの発掘、育成等の基盤づくり、ボランティアに関する登録・相談等を行った。

相談件数　　２６５件（内訳：活動希望者による相談７８件、
協力依頼者による相談１４５件、
その他４２件）

登録数　　個人　１４０人　　団体　１９９団体

イ　ボランティア保険への加入促進（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動中のケガや賠償責任を補償するボランティア活　動保険、及びボランティアグループや福祉団体の行事中の事故を補償するボランティア行事用保険を受け付けた。

ボランティア活動保険加入数

団体　１０６団体（２，５０６人）

個人　４７人

ボランティア行事用保険加入数　１９３件

（２）人材育成

ア　手話講座の開催

（ア）手話奉仕員養成講座の開催（地域福祉課）

聴覚に障がいのある方へ情報を手話で伝えるボランティアの養成と障がい者への理解を深めることを目的に、手話奉仕員養成講座を開催した。

開催期間　　令和７年４月１６日～令和８年３月１８日
毎週水曜日（全４７回）

場　所　　栃木保健福祉センター

受講人数　　１３人

（イ）手話のミニ講座の開催（地域福祉課）

手話に興味を持ち、手話奉仕員養成講座等への参加促進のために、手話のミニ講座を開催した。

開催回数　１０回

場　所　　栃木保健福祉センター
受講人数　６５人

イ　ふれあい在宅福祉サービス協力会員研修会の開催（地域福祉課）

ふれあい在宅福祉サービスにおける協力会員活動の向上と、住民参加型在宅福祉サービスについての理解や関心を高め、協力会員の増加につなげることを目的に、協力会員と市民を対象とした研修会を開催した。

開催日　　令和７年１２月２３日（火）
場　所　　ふるさとふれあい館
内　容　　掃除の基本を学ぶ　お掃除講座
講　師　　おそうじ本舗　小山駅西店　中川勇毅　氏
参加人数　２４人

ウ　運転ボランティア養成研修会の開催（岩舟支所）

運転ボランティアの人材を育成するとともに、安全・安心に移動手段の確保という地域の福祉課題に取り組むことができるよう、運転ボランティアに必要な知識と技術を習得するための研修会を開催した。

開催日　　令和８年３月９日（月）
場　所　　栃木自動車教習所
内　容　　住民共助の役割、安全運転の基本、車両の運転等
参加人数　３人

エ　人権（介護）講演会の開催（地域福祉課）

さまざまな差別や人権侵害の事象がある中、人権侵害のひとつである部落差別（同和問題）についての理解と認識を深め、市民の人権意識の醸成を図ることを目的に、市人権・男女共同参画課との共催で人権講演会を開催した。

開催日　　令和８年２月３日（火）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　学校では教えてくれない差別と人権の話
講　師　　部落解放同盟栃木県連合会　書記長　戸田　眞　氏
参加人数　２８人

オ　栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」の開催（地域福祉課）

認知症高齢者を支える取り組みの事例や、認知症に関する啓発を目的に、栃木市、栃木市特別養護老人ホーム・養護老人ホーム連絡協議会との共催で、栃木市民特別講座「まちぐるみで認知症高齢者を支える」を開催した。

開催日　　令和７年９月２３日（火）
場　所　　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）
内　容　　講演「認知症の方との関わり方について」
　　映画上映「ぼけますから、よろしくお願いします」
講　師　　チームオレンジ STAND BY YOU 代表　山口雅之 氏
参加人数　３８０人

カ　実習生の受け入れ（地域福祉課、福祉サービス課、藤岡支所）

（ア）将来、社会福祉等の専門職として活躍する人材育成の一助として、社会福祉士等の実習生を受け入れた。

学校名等	実習期間（実習日数）	受入人数	担当部署等
マロニエ医療福祉専門学校（看護学科）	令和7年10月20日、22日（2日）	4人	老人福祉センター福寿園
	令和7年10月28日、31日（2日）	4人	
	令和7年10月20日、22日（2日）	16人	老人福祉センター長寿園
	令和7年10月28日、31日（2日）	16人	
介護支援専門員実務研修実習	令和8年1月19日、20日、26日（3日）	1人	福祉サービス課

（イ）栃木県社会福祉協議会主催の初任者職員研修カリキュラムの一環として、市町社協現場実習生を受け入れた。

社協名	実習日	受入人数	担当部署等
栃木県社会福祉協議会	令和7年7月22日（火）	1人	地域福祉課
佐野市社会福祉協議会	令和7年7月16日（水）	1人	福祉サービス課
	令和7年7月17日（木）	1人	藤岡支所
	令和7年7月30日（水）	1人	地域福祉課
小山市社会福祉協議会	令和7年7月16日（水）	1人	地域福祉課
足利市社会福祉協議会	令和7年7月18日（金）	1人	地域福祉課

キ　ふくしミニ体験講座の開催（地域福祉課、各支所）

ボランティアを始めたいと思っている方や興味のある方等を対象に、各ミニ講座の体験を通してボランティア活動や福祉に対する関心と理解を高めることを目的に開催した。

講座名	開催日	延べ受講人数	担当部署
傾聴入門講座	令和7年7月2日（水）、9日（水）、16日（水）	61人	都賀支所 西方支所
ふれあい在宅福祉サービス協力会員研修会（再掲）	令和7年12月23日（火）	24人	地域福祉課 大平支所
地域福祉サポーター スタートアップ研修会（再掲）	令和8年2月9日（月）	31人	地域福祉課

（３）福祉団体・ボランティア団体等活動支援

ア　福祉団体・ボランティア団体等への補助

地域における福祉活動の推進を図るため、市内の福祉団体・ボランティア団体の活動に対する補助を行った。（４９団体）

イ　傾聴ボランティアスキルアップ研修の実施

傾聴ボランティア活動者のスキルアップ及び活動者同士の交流促進を図ることを目的として開催した。

開催日　令和７年９月１８日（木）
場　所　栃木保健福祉センター
講　師　栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢 氏
参加人数　１８人

（４）収集ボランティア運動の実施

ア　エコキャップ回収運動の実施（藤岡支所、西方支所、岩舟支所）

世界の子ども達のためのワクチン購入にエコキャップを活用している団体への寄贈や、ボランティア団体の活動支援などにエコキャップを活用するため、回収運動を実施した。

回収量　６３９，５００個

イ　アルミ缶回収運動の実施（西方支所）

西方支所でアルミ缶を１４０ｋｇ回収し、その収益金を西方町ボランティア連絡協議会が実施する福祉事業に活用した。

ウ　入れ歯回収ボックスの設置（地域福祉課）

入れ歯に含まれている貴金属のリサイクル収益金を、世界の恵まれない子ども達の支援に活用していただくため、市役所本庁舎、栃木保健福祉センター、本会各支所、各老人福祉センターにＮＰＯ法人日本入れ歯リサイクル協会の回収ボックスを設置した。

回収数　１０個

（５）被災地支援及び災害時支援体制強化

ア　栃木市災害ボランティア支援委員会の開催（地域福祉課）

災害時に災害ボランティアセンターの設置・運営が迅速かつ効果的に行えるよう、栃木市災害ボランティアの支援委員会を開催し、関係機関・団体と災害ボランティアセンターの設置や人材養成に関して協議・検討を行った。

開催日　令和７年９月２日（火）
場　所　栃木保健福祉センター
協議内容　災害ボランティア支援委員会等の活動内容について
　　栃木市災害ボランティアセンター資機材ネットワーク構築事業について
参加人数　１０人

イ　防災訓練への協力（地域福祉課）

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化、並びに職員の災害ボランティアセンターの運営の迅速化を図るために実施された栃木市総合防災訓練に参加協力した。

実施日　　令和７年１０月４日（土）

場　所　　藤岡渡良瀬運動公園

内　容　　災害ボランティアセンターの受付訓練

ウ　栃木市災害ボランティアセンター資機材ネットワーク構築事業の実施（地域福祉課）

市民や民間企業等と連携協働し、活動資機材を確保し、被災者への支援を充実させるとともに、地域における災害ボランティア活動への理解促進と意識醸成を図ることを目的に、資機材ネットワーク構築事業（ストックヤード事業）を実施した。

登録者数　３件

エ　ストックヤード事業の事業連携に関する協定の締結（地域福祉課）

災害発生時に必要な資機材が十分に確保出来ない場合に小山市ストックヤード事業を活用し、円滑な災害救助活動が行えるよう災害ボランティア活動用資機材整備事業の事業連携に関する協定を小山市社会福祉協議会と締結した。

締結日　　令和８年３月２６日（木）

３　学校や地域における福祉教育の推進

（１）小・中学校福祉授業等への職員等の派遣や体験活動の受け入れ（地域福祉課、各支所）

市内小･中学校等からの福祉やボランティア活動に関する授業実施の相談や地域からの福祉講座実施の相談に応じ､職員やボランティアグループ等の講師派遣、体験活動の受け入れを行った。

ア　小・中学校等への派遣（５３件）

派遣日	派遣先学校名等	派遣の内容
令和７年 ６月１３日（金）	岩舟小学校　（４年）	みんなに優しいまちづくり、心のバリアフリー
６月２０日（金）	栃木中央小学校（４年）	車いす体験
６月２４日（火）	家中小学校　（４年）	車いすユーザーとの交流、車いす体験、アイマスク体験
６月２５日（水）	栃木中央小学校（４年）	福祉機器について
６月２６日（木）	岩舟中学校	折り紙ボランティア講座①
６月２７日（金）	岩舟中学校	折り紙ボランティア講座②
７月　１日（火）	大宮南小学校（3・4年）	心のバリアフリー、車いす体験
７月　４日（金）	岩舟小学校　（４年）	盲導犬ユーザーとの交流、すぎのこ会とのニュースポーツ交流
７月１０日（木）	栃木南小学校　（４年）	テーマ型講話 （車いすユーザー・視覚障がい者・ボランティア・介護事業者）

７月１４日（月）	小野寺小学校　（６年）	地域のお宝発見隊①
９月　８日（月）	岩舟中学校	モルックボランティア講座①
９月１６日（火）	大宮南小学校（３・4年）	ろう者の生活について、手話体験
９月１９日（金）	岩舟中学校	モルックボランティア講座②
９月２２日（月）	真名子小学校　（４年）	認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験
９月２５日（木）	岩舟小学校　（４年）	点字を知ろう（点字体験）
９月２９日（月）	岩舟小学校　（４年）	点字を知ろう（点字体験）
１０月　６日（月）	栃木南小学校　（４年）	自助具の体験、一緒に紙芝居をやろう
１０月　９日（木）	栃木第四小学校（４年）	車いす体験、アイマスク体験
１０月１０日（金）	大宮北小学校　（４年）	共同募金について
１０月１７日（金）	小野寺小学校　（４年）	盲導犬ユーザーとの交流
１０月２０日（月）	栃木第四小学校（４年）	盲導犬ユーザーとの交流
１０月２０日（月）	大平東小学校　（４年）	視覚障がい者について学ぶ、点字体験等
１０月２２日（水）	栃木第四小学校（４年）	点字体験
１０月２４日（金）	大宮北小学校　（４年）	盲導犬ユーザーとの交流
１０月２４日（金）	大平南小学校　（４年）	車いす体験
１０月２９日（水）	栃木第四小学校（４年）	共同募金について
１１月　７日（金）	大宮北小学校　（４年）	手話体験
１１月　７日（金）	大宮北小学校　（４年）	点字体験
１１月　７日（金）	大平東小学校　（４年）	高齢者疑似体験
１１月１０日（月）	大平東小学校　（４年）	盲導犬ユーザーさんのお話
１１月１０日（月）	家中小学校　（４年）	認知症の紙芝居、高齢者疑似体験
１１月１１日（火）	大平中央小学校（３年）	手話親子学習及びふくし講座
１１月１１日（火）	赤麻小学校　（４年）	車いす体験、ボッチャ体験
１１月１１日（火）	小野寺小学校　（４年）	シニアクラブとグラウンドゴルフをとおした交流
１１月１４日（金）	栃木第五小学校（４年）	盲導犬ユーザーのお話
１１月１４日（金）	小野寺小学校　（６年）	地域のお宝発見隊②
１１月１７日（月）	大平東小学校　（４年）	車いす体験
１１月１７日（月）	岩舟小学校　（４年）	手話を学ぼう（手話体験）
１１月１８日（火）	大平東小学校　（４年）	手話体験
１１月１８日（火）	部屋小学校　（４年）	高齢者疑似体験
１１月２５日（火）	大宮北小学校　（４年）	手話体験
１１月２７日（木）	真名子小学校　（４年）	車いす体験
１１月２７日（木）	大平中央小学校（４年）	アイマスク体験
１２月　５日（金）	栃木第五小学校（４年）	車いす体験
１２月　５日（金）	部屋小学校　（４年）	車いす体験、視覚障がい者体験
１２月　５日（金）	小野寺小学校　（６年）	地域のお宝発見隊③
１２月　８日（月）	大宮南小学校（３・4年）	盲導犬ユーザーとの交流
１２月　８日（月）	真名子小学校　（４年）	点字体験
１２月１２日（金）	千塚小学校　（４年）	手話体験、点字体験
１２月１２日（金）	岩舟小学校　（４年）	シニアクラブとグラウンドゴルフをとおした交流

１２月１５日（月）	国府北小　　（５年）	福祉について、車いす体験、手話体験
令和８年 ２月１８日（水）	小野寺小学校　（６年）	地域のお宝発見隊④
２月２０日（金）	大平中学校福祉委員会	高齢者疑似体験

イ　学校以外への派遣（８件）

派遣日	派遣先	派遣の内容
令和７年 ４月２３日（水）	上地区さくら会	地域のつながりについて（講話）
６月１９日（木）	全国市町村国際文化研修所	地域共生社会の実現に向けて ～重層的支援体制整備事業を中心に～
８月　８日（金）	全国コミュニティライフサポートセンター	生活支援コーディネーター養成オンライン研修
１１月２６日（水）	ＪＡしもつけ岩舟支店	成年後見制度とあすてらすについて
１２月１０日（水）	佐野日本大学短期大学	地域福祉と包括的支援体制（講話）
令和８年 ２月２０日（金）	全国コミュニティライフサポートセンター	生活支援コーディネーターによる大座談会
２月２６日（木）	全国コミュニティライフサポートセンター	生活支援コーディネーターのための中堅研修
３月２４日（火）	ＪＡしもつけ岩舟支店	認知症紙芝居と介護予防体操

（２）児童、生徒のための福祉講座の開催（地域福祉課、各支所）

夏休みを利用して、福祉やボランティア活動に対する子どもたちの理解と関心を高めることを目的に、サマーボランティアスクールを開催した。

会場	開催日	内容	参加人数	場所
中央地域	令和７年 ８月２１日（木） ２２日（金）	【１日目】 高齢者と「ｅスポーツ・昔遊びであそぼう」 【２日目】 装着型サイボーグ HAL 体験、介護用品、福祉機器の体験	１日目 ２３人 ２日目 ２２人	【１日目】 老人福祉センター長寿園 【２日目】 とちぎロボケアセンター、老人福祉センター長寿園
南部地域	令和７年 ８月　７日（木） ２２日（金）	【１日目】 認知症サポーター養成講座、出張オレンジカフェ 【２日目】 装着型サイボーグＨＡＬ体験、介護用品、福祉機器の体験	１日目 ２３人 ２日目 ２６人	【１日目】 道の駅みかも 【２日目】 とちぎロボケアセンター、老人福祉センター長寿園

北部地域	令和７年 ７月３１日（木） ８月　１日（金）	【１日目】 高齢者との交流（縁日を楽しもう！・ダンボールで羽子板製作） 【２日目】 装着型サイボーグＨＡＬ体験、介護用品、福祉機器の体験	１日目 ２６人 ２日目 ２６人	【１日目】 西方支所 【２日目】 とちぎロボケアセンター、老人福祉センター長寿園

（３）福祉教育推進事業の実施（地域福祉課、各支所）

ボランティア活動などの体験を通して、児童・生徒が社会福祉への理解と関心を高め、社会参加や社会連携の精神を育むことを目的としている。また、地域社会・学校・家庭が連携し、地域に密着した福祉教育を推進するため、市内の小中学校及び高等学校等が実施する福祉教育活動に対し、活動経費の補助を行った。

（幼保４園、小学校２２校、中学校１校、高校４校）

（４）福祉体験機器等の貸出（地域福祉課、各支所）

福祉教育を推進するため、学校や施設に対し、各種福祉体験機器等の貸し出しを行った。

（点字盤、高齢者疑似体験セット、車椅子、ボッチャの貸出　１８件）

４　生活困窮者への支援及び成年後見事業の実施

（１）生活困窮者に対する支援の推進

ア　生活困窮者自立支援事業の実施（地域福祉課）※受託

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的・経済的に自立することを目的に、支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援事業を実施した。

（ア）支援調整会議の開催

本会とちぎ市くらしサポートセンターが作成する支援計画の内容の検証や関係機関及び関係者等の連絡調整並びに事後評価等の検証等を行うことを目的に、支援調整会議を、年１１回開催した。

（イ）自立相談支援事業（必須事業）

新規相談受付件数　２６２件
プラン作成件数　　５７件
相談内容　　自立相談支援、家計相談、学習支援、一時生活支援、住居確保給付金

（ウ）学習支援事業（任意事業）

生活困窮等の理由から学習環境に課題のある世帯の小・中学生を対象に、学校授業の補習、進学のための学習や進路相談などを実施した。

a　短期集中型学習サポート塾（小中学生対象。夏、冬休み期間）

○夏休み期間

実施期間　　令和７年７月２９日（火）～３１日（木）、
　　８月４日（月）、５日（火）、７日（木）
場　　所　　栃木会場：栃木保健福祉センター
　　大平会場：大平公民館
参加人数（両会場）
　小学５・６年生：登録者１７人、延べ参加人数　４３人
　中学１・２年生：登録者１６人、延べ参加人数　３５人
　中学　　３年生：登録者１７人、延べ参加人数　２４人
　　計　　：登録者５０人、延べ参加人数１０２人

○冬休み期間

実施期間　　令和７年１２月２６日（金）、２７日（土）
場　　所　　栃木保健福祉センター
参加人数
　小学５・６年生：登録者　９人、延べ参加人数１５人
　中学１・２年生：登録者１２人、延べ参加人数１２人
　中学　　３年生：登録者１６人、延べ参加人数１６人
　　計　　：登録者３７人、延べ参加人数４３人

○体験会

実施期間　　令和７年８月２０日（水）の１日間
場　　所　　栃木保健福祉センター
参加人数
　小学５・６年生：登録者４人、延べ参加人数３人
　中学１・２年生：登録者３人、延べ参加人数３人
　中学　　３年生：登録者２人、延べ参加人数２人
　　計　　：登録者９人、延べ参加人数８人

b　通所学習（中学生対象）

実施期間　　令和７年６月７日（土）～令和８年２月２８日（土）
　　毎週土曜日
場　所　　栃木会場：栃木保健福祉センター
　　大平会場：ふるさとふれあい館
参加人数（両会場）
　中学１・２年生：登録者１９人、延べ参加人数１５９人
　中学　　３年生：登録者２３人、延べ参加人数２２６人
　　計　　：登録者４２人、延べ参加人数３８５人

ｃ　通信学習（小中学生対象）

実施期間　　令和７年６月７日（土）～令和８年２月２８日（土）
毎週土曜日

参加人数　　通信教育のみ：３７人（小学生１８人、中学生１９人）

（エ）学習支援事業参加者や卒業生への社会参加支援

学習支援事業参加者と卒業生に対し、地域イベント等でのボランティア募集を周知し、ボランティア活動に参加することで、社会参加を図った。

卒業生のボランティア登録者数　４人

（オ）家計改善支援事業の実施（任意事業）

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計状況を明らかにした上で、生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や専門的助言・支援等を行うことにより家計を管理する力を高め、早期に生活を再生することを目的に、家計相談支援事業を実施した。

プラン作成人数　　３８件　　延べ相談件数　　４４４件

（カ）就労準備支援事業の実施（任意事業）

被保護者又は経済的困窮の状態にある者であって、一般就労が困難な者に対し、生活習慣の形成のための指導・訓練、就労の前段階として必要な社会的能力の習得及び就労体験や、一般就労のための就職活動の技法や知識の取得支援などを実施し、基礎能力を身につけることで安定的な就労に就き、経済的困窮状態から脱却を図ることを目的に、就労準備支援事業を実施した。

プラン作成件数　　２件　　活動回数　　３５回

（キ）栃木市フードバンク事業の実施

食品ロス削減と地域福祉の向上に資することを目的として、安全に食べることができるにもかかわらず廃棄される食品や市場流通が困難な食品を、個人・法人・団体から無償で受け入れたうえで、食糧支援を必要とする者、各支援団体、福祉施設等へ提供する取り組みを実施した。また、これらの食品提供と併せて、包括的な相談支援を行うことにより、生活困窮者等の自立支援を図り、地域における支え合いの仕組みづくりを推進するため、栃木市フードバンク事業を実施した。

食品受け入れ件数　　１６３件

日用品等受入れ件数　　２４件

（ク）事業啓発等の実施

地域課題の共有及び担い手の育成を図ることを目的に、イベント等に参加し、市内子育て団体及び地域住民等に対して、生活困窮者自立支援事業啓発のための周知活動等を実施した。

実施回数　　３回

（ケ）くらしサポート事業（旧事業名：緊急一時食糧支援事業）の実施

貸付相談等の場において、生命の維持や自立に向けて一時的な食糧支援が必要と判断される相談者に対し、米や缶詰等の食糧を支給した。また、学習支援事業に参加する児童・生徒の世帯のうち、米や生活用品の配付を必要とする世帯に対しても、米等の提供を行い、生活の安定と学習継続を支援した。

支援件数　　４７７件

支援物品　　米、缶詰、乾麺、レトルト食品、アルファ米等

イ　各種資金の貸し付け・相談（地域福祉課、各支所）

（ア）生活福祉資金の貸付※受託

栃木県社会福祉協議会が低所得者、障がい者、高齢者に対し、各種資金の貸し付けを行う生活福祉資金の窓口として、民生委員・児童委員と連携し、申請に必要な支援等を行った。

【新規貸付実績】

資金の種類	件数	金　額
福祉資金（福祉費）	２件	１，１４３，０００円
教育支援資金（就学支度費）	１件	５００，０００円
教育支援資金（教育支援費）	３件	２，０１６，０００円

（イ）緊急小口資金等の特例貸付の借受人へのフォローアップ支援

新型コロナウイルス感染症の影響による緊急的な生活資金の貸付として令和２年４月から令和４年９月に実施された緊急小口資金等の特例貸付を受けた借受人に対し、償還に関する相談対応等、以下のフォローアップ支援を開始した。

ａ　償還免除を行った借受人へのフォローアップ支援

・訪問、架電等による生活状況の把握

・自立相談支援機関の支援を希望する場合、自立相談機関への借受人に関する情報の提供

ｂ　償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援

・訪問、架電等による償還免除申請の勧奨や申請書の作成支援

・借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内

ｃ　償還免除に至らないものの償還が困難な借受人へのフォローアップ支援

・借受人の生活状況を踏まえた償還猶予や少額返済の案内

・償還猶予、償還計画変更、少額返済の受付及び意見書の作成

・訪問、架電等による生活状況の把握

・自立相談支援機関との連携による生活再建に向けた支援

・償還猶予期間中の借受人への支援

ｄ　その他

・相談希望の確認アンケートの実施

実施時期及び対象者

令和７年　５月　償還免除になった借受人

令和７年　８月　特例貸付緊急小口資金２４回滞納借受人

令和７年１１月　特例貸付緊急小口資金１～２３回滞納借受人

アンケート送付数　　８２９世帯

（5月実施：２１０世帯、8月実施：２２９世帯、１１月実施：３９０世帯）

返信世帯数　　３６世帯（４．３％）

（５月実施：２１世帯、８月実施：２世帯、１１月実施：１３世帯）

無反応世帯数　　６３０世帯（７６．０％）

（5月実施：１７６世帯、8月実施：１６５世帯、１１月実施：２８９世帯）

住所不明世帯数　　１６３世帯（１９．７％）

（５月実施：１３世帯、８月実施：６２世帯、１１月実施：８８世帯）

・令和７年度償還免除者・償還猶予者の状況

貸付種類	償還免除者	償還猶予者
緊急小口資金特例貸付	１２件	７件
総合支援資金特例貸付	７件	１７件
総合支援資金（延長）特例貸付	６件	９件
総合支援資金（再貸付）特例貸付	１５件	１２件

（ウ）社会福祉金庫の貸付

生活保護が開始されるまでの間の生計の維持が困難な世帯､生活保護世帯で、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難になった世帯に対し、生活一時金の貸し付けを行い、生活安定の支援を図った。

令和７年度貸付金　　７５件　　１，９３０，０００円

令和７年度償還金　　６７件　　１，７５６，０００円

（償還金内訳）※分割償還含むため償還件数が超過する。

過年度貸付分　　９件　　２６６，０００円

令和７年度貸付分　５８件　　１，４９０，０００円

（エ）高額療養費の貸付

高額療養費を貸し付けることにより、療養者世帯の生活安定の助長を図った。

令和７年度貸付金　　５件　　１，９９８，０００円

令和７年度償還金　　３０件　　５，０１０，０００円

（償還金内訳）

過年度貸付分　　２７件　　３，５２８，０００円

令和７年度貸付分　　３件　　１，４８２，０００円

（２）権利擁護事業などの推進

ア　法人後見事業の実施（地域福祉課）

親族や専門職による後見人が得られにくい方に対し、家庭裁判所の審判を経て、本会が法人として成年後見人等を受任した。

受任件数１１件（うち新規２件）

（類型内訳）

後　見　　９件（高齢者７件、知的障がい者１件、精神障がい者１件）

保　佐　　０件

監督人　　２件（知的障がい者２件）

（ア）法人後見運営委員会の開催

法人後見業務の適正な実施を担保するため、法人後見受任の適否の判断や後見業務への指導を行う法人後見運営委員会（学識経験者や行政職員で構成）を年３回開催した。

（イ）法人後見ケース検討会議の開催

適正な後見業務を行うため、学識経験者、地域包括支援センター、障がい児者相談支援センター、あすてらす・とちぎ等の関係機関担当者とのケース検討会議を年４回開催し、法人後見受任の適否、後見業務の検討を行った。

イ　権利擁護・成年後見支援センター事業の実施（地域福祉課）※受託

（ア）成年後見制度に関する相談・利用支援

認知症の高齢者や障がい等で、判断能力が十分でない方の権利を擁護するとともに、成年後見制度の利用促進を図ることで、誰もが住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことを目的に、相談窓口を設置し、助言、情報提供した。

相談人数　　９２人　　相談延べ件数　１４９件

【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
法定後見関係	59 件	任意後見関係	0 件	法人後見関係	1 件
申立て相談等	8 件	あすてらす関係	3 件	相続・遺言・終活	6 件
親族後見等相談	0 件	専門職への相談	38 件	その他	34 件

（イ）司法書士専門相談

法律問題に関する市民の相談に対し、専門家である司法書士が助言した。

実施日　　毎月第２火曜日　午前９時３０分～午前１１時３０分

場　所　　栃木保健福祉センター

相談人数　　３８人

相談延べ件数　３８件

【相談内訳】

相談事項	件数	相談事項	件数	相談事項	件数
成年後見制度	8 件	債務	2 件	売買	3 件
贈与	1 件	相続	19 件	財産分与	1 件
遺言	1 件	借地借家	1 件	その他	2 件

（ウ）成年後見制度に関わる広報及び啓発

a　成年後見制度・市民後見人啓発事業

開催日　　令和７年１０月１８日（土）
場　所　　岩舟文化会館(コスモスホール)
内　容　　「ふたたび風を吹かせます
　　笑って学ぶ成年後見制度」
【第１部】「漫才」
　　漫才師　青空一風・千風 氏
　　※青空一風氏は足立区の市民後見人
【第２部】「成年後見制度Ｑ＆Ａ、○×クイズ」
　　司会　青空一風 氏
　　解説　司法書士　古田剛康 氏
参加人数　１５０人

b　出前講座の開催

成年後見制度の普及啓発を図るため、地域住民や関係機関に対し、出前講座を開催した。

開催日	内　容	依頼団体等	参加人数
令和７年 ６月１２日（木）	成年後見制度について	傾聴ボランティアほほえみ	１２人
６月３０日（月）	終活の知識とエンディングノートの活用	古宿シニアクラブ	１９人
９月１０日（水）	成年後見制度について	幸寿苑たかしまの郷	２４人
１０月１７日（金）	事例を通して学ぶ「あすてらす」と「成年後見制度」	藤岡地域包括多職種交流会	１５人
１１月２１日（金）	終活の知識とエンディングノートの活用	ふくぴーカフェ	２９人
１１月２５日（火）	終活の知識とエンディングノートの活用	大宮あったかサロン	３２人
１１月２６日（水）	権利擁護制度について～日常生活自立支援制度と成年後見制度～	ＪＡしもつけ岩舟支店	１９人
令和８年 ２月１９日（木）	「日常生活自立支援事業あすてらす」と「事務委任」、「死後事務」について	栃木市在宅医療・介護連携推進会議	７０人
２月２７日（金）	終活の知識とエンディングノート、人生会議の活用	藤岡地区社会福祉協議会	１２人
３月　９日（月）	終活の知識とエンディングノート、人生会議の活用	藤岡支所　会食会	２２人

３月１９日（木）	終活の知識とエンディングノート、人生会議の活用	とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会	２５人

（エ）成年後見推進委員会の開催（地域福祉課）

成年後見制度の利用の促進に関する法律及び成年後見制度利用促進基本計画に基づき、栃木市における市民後見人制度を含む成年後見制度の推進等に関して必要な事項を検討するため、栃木市成年後見推進委員会を年３回開催した。

開催日	内　容
令和７年 ６月６日（金）	・委員長、副委員長の選任について ・第１期栃木市成年後見制度利用促進計画の報告について ・令和７年度成年後見制度・市民後見人啓発事業について ・市民後見人養成講座フォローアップについて
９月５日（金）	・市民後見人の受任方法について
１２月５日（金）	・市民後見人候補者名簿登録及び申立について ・受任調整について

（オ）市民後見人養成講座フォローアップ研修「実務編」の開催

市民後見人養成講座フォローアップ研修修了者に対する成年後見制度の習得向上を目的に、市民後見人養成講座フォローアップ研修を栃木保健福祉センターにて４回開催した。

開催日	内　容	受講人数
令和７年 ６月３０日（月）	・もしもの時の話し合い ～縁起でもない話を考える～ 講師　とちぎメディカルセンター職員	２３人
９月１２日（金）	・事例検討「専門職後見人の後見活動」 講師　社会福祉士　吉澤洋介 氏	１８人
１０月１８日（土）	・栃木市成年後見制度・市民後見人啓発事業（再掲）	１７人
令和８年 １月３０日（金）	・相続登記の義務化・遺言書・相続事例 講師　司法書士　小板橋　薫 氏	１７人

（カ）市民後見人の監督

市民後見人と３カ月に一回面談を行い、毎月の後見活動状況・収支状況の把握・確認を行い、後見活動等の相談に応じ、助言を行った。また、市民後見人として、宇都宮家庭裁判所へ１年間の定期報告を行った。

ウ　日常生活自立支援事業（あすてらす・とちぎ）の実施（地域福祉課）※受託

市内の認知症高齢者、知的障がい者等、判断能力が十分でない方や日常生活に不安を感じている方の生活をサポートするため、専門員２人、生活支援員２３人を配置し、各種の相談に応じるとともに、福祉サービス利用援助や金銭管理サービス等の支援サービスを実施した。

相談件数　　１，１４３件
訪問調査回数　　３５５回
支援回数　　６０７回
実利用人数　　４８人（うち新規６人、年度中終了１２人）
（内訳）
高齢者１３人、精神障がい者２０人、知的障がい者１３人、
身体障がい者２人

５　介護保険事業及び障がい福祉サービス事業等の実施

（１）栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の開催・運営（福祉サービス課）

栃木市における介護保険事業等の活性化と福祉サービスの一層の充実を図るために設立された栃木市在宅介護サービス事業所連絡会の事務局を担い、市内介護保険事業所の資質向上を図ることを目的に、会員への連絡調整やメールを活用した情報発信、交流や研修会の企画・立案を行った。

ア　栃木市在宅介護サービス事業所連絡会研修会の開催

開催日　　令和８年２月２０日（金）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　「栃木市高齢者福祉について」
「現場で役立つアンガーマネジメント～怒りのコントロール～」
講　師　　栃木市高齢介護課長　唐木田　仁 氏
ヤマゼンコミュニケイションズ株式会社
常務取締役　山本果奈 氏
参加人数　２９人

（２）栃木市事業所交流・学習会（丸ごと障介サロン）の開催（福祉サービス課）

栃木市の福祉力の向上と地域共生社会の実現を目指すため、福祉関係者の連携強化を目的に、地域の障がい者や要介護者等の日常生活を支える介護保険事業所と障がい福祉サービス等事業所間の情報共有と相互理解を図る場として、栃木市事業所交流・学習会（丸ごと障介サロン）を開催した。

開催日　　令和８年１月２２日（木）
場　所　　栃木保健福祉センター
内　容　　「楽しく学べる成年後見制度」
講　師　　地域福祉課権利擁護係
参加人数　２９人

（３）介護保険事業の実施

ア　介護保険事業職員研修会の開催（福祉サービス課）

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、介護保険事業職員を対象とした研修会を開催した。（障がい福祉サービス事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数
令和７年 １０月８日（水）	自分にも相手にも優しい伝え方 ～アサーションの基本と実践～	１７人

※参加者には障がい福祉サービス事業従事職員を含む。

イ　居宅介護支援事業の実施（福祉サービス課）

介護保険法に基づく居宅介護支援及び介護予防支援業務（ケアプラン作成等）を１事業所（栃木市社協ケアプランセンター）で実施した。

実利用人数　　３６３人
延べ作成件数　３，４７２件
月平均作成件数　２８９．３件

ウ　訪問介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課）

（ア）訪問介護

介護保険法に基づいて、要介護状態の方の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護事業を２事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用者人数		８２人	７４人	１５６人
身体介護	派遣回数	１，１８６回	４，２４６回	５，４３２回
	派遣時間	６９６時間１５分	２，４１６時間００分	３，１１２時間１５分
生活援助	派遣回数	４，３３８回	４，５０３回	８，８４１回
	派遣時間	４，２８１時間１５分	４，０８１時間４０分	８，３６２時間５５分
身体生活	派遣回数	１，０２５回	１，１６１回	２，１８６回
	派遣時間	１，１１５時間２０分	１，２６４時間２０分	２，３７９時間４０分

（イ）訪問介護相当サービス

要支援と認定されている方の入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の生活援助を行う訪問介護相当サービス事業を２事業所で実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	３４人	２６人	６０人
派遣回数	１，４９２回	１，４０７回	２，８９９回
派遣時間	１，４９１時間４５分	１，３７９時間００分	２，８７０時間４５分

（ウ）緩和した基準による訪問型サービス

栃木市総合事業の事業対象者と特定されている方の調理、洗濯、買物等の生活援助を行う緩和した基準による訪問型サービスを２事業所で実施した。

	北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数	３８人	１６人	５４人
派遣回数	１，３３６回	６２２回	１，９５８回
派遣時間	１，００２時間００分	４７９時間００分	１，４８１時間

エ　通所介護事業の実施（福祉サービス課）

介護保険法に基づいて、入浴サービスや食事の提供、日常動作訓練、その他必要な介助等を行う通所介護事業及び通所型サービス（総合事業）を２事業所で実施した。

	デイサービス福寿園	大平高齢者デイサービスセンターまゆみ
営業日	月～土（１月１日～３日除く）	月～土（祝日・12月29日～1月3日除く）
実利用人数	５４人	７２人
営業日数	３１０日	２９２日
延べ利用人数	４，３１７人	５，２５１人
1日平均利用人数	１３．９人	１８．０人

（４）要介護認定調査事業（指定市町村事務受託法人）の実施（福祉サービス課）

指定市町村事務受託法人の指定を受け、要介護認定調査業務を実施した。専任の調査員２名を配置し、社協ケアプランセンターが協力して業務を行った。

栃木市認定調査委託　　１，３９０件

（５）障害者総合支援事業等

ア　障がい福祉サービス事業職員研修会の開催（福祉サービス課）

より良いサービスを提供し、事業所への信頼や価値を高めるため、障がい福祉サービス事業職員を対象とした研修会を開催した。（介護保険事業職員研修会と合同開催）

開催日	研修内容	参加人数
令和７年 １０月８日（水）	自分にも相手にも優しい伝え方 ～アサーションの基本と実践～	１７人

※参加者には介護保険事業従事職員を含む。

イ　相談支援事業（特定相談支援事業・障害児相談支援事業）の実施（福祉サービス課）

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づいて、サービス等利用計画及び障害児支援利用計画の作成等を、１事業所（相談支援事業所　社協とちぎ）で実施した。

	特定相談支援事業	障害児相談支援事業
実利用人数	３６人	７５人

延べ作成件数	１２３件	１９０件

ウ　障がい者居宅介護（ホームヘルプサービス）事業の実施（福祉サービス課）

障害者総合支援法に基づいて、障がい者の居宅における入浴、排泄、食事介助等の身体介護、調理、洗濯、買物等の家事援助、通院時の介護や視力障がい者の同行援護を行う障がい者居宅介護事業を２事業所で実施した。

		北部ヘルパーステーション	南部ヘルパーステーション	合　計
実利用人数		３０人	１５人	４５人
身体介護	派遣回数	２８０回	３６回	３１６回
	派遣時間	２１５時間００分	３４時間００分	２４９時間００分
家事援助	派遣回数	２，２７４回	１，１４７回	３，４２１回
	派遣時間	２，４３２時間５０分	２，４２９時間１５分	４，８６２時間０５分
通院介護	派遣回数	９回	１１回	２０回
	派遣時間	１７時間５０分	３９時間３０分	５７時間２０分
同行援護	派遣回数	３１９回	２２回	３４１回
	派遣時間	４１５時間４５分	４９時間００分	４６４時間４５分

６　組織の基盤強化

（１）理事会及び評議員会等の開催（法人運営課）

ア　理事会

第１回	開催日	令和７年６月９日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認（令和６年度資金収支補正予算（第６号））について、令和６年度事業報告の承認について、令和６年度決算の承認について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「大平高齢者デイサービスセンターまゆみ」運営規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「デイサービス福寿園」運営規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会栃木市社協北部ヘルパーステーション運営規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会障がい者居宅介護事業所栃木市社協北部ヘルパーステーション運営規程の一部改正について、令和７年度定時評議員会の開催について、評議員選任候補者の推薦について、評議員選任・解任委員会委員の選任について、評議員選任・解任委員会の開催について
第２	開催日	令和７年６月２７日（金）
	場　所	栃木保健福祉センター

回	議　事	会長、副会長及び常務理事の選定等について
第3回	開催日	令和７年１０月６日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長及び常務理事の職務執行状況について、会長の専決処分事項の承認について（令和７年度資金収支補正予算（第１号））、令和７年度資金収支補正予算（第２号）について、訪問介護等事業所の統合について、特定相談・障害児相談支援事業の廃止について、令和７年度第２回評議員会の開催について
第4回	開催日	令和７年１２月８日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和７年度資金収支補正予算（第３号）について、権利の放棄について、令和７年度第３回評議員会の開催について、評議員選任候補者の推薦について、評議員選任・解任委員会の開催について
第5回	開催日	令和８年３月５日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長及び常務理事の職務執行状況について、令和７年度資金収支補正予算（第４号）について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会就業規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会経理規程の一部改正について、訪問介護等事業所の統合日の変更について、訪問介護等事業所の統合に伴う事業所及び運営規程の廃止について、訪問介護等事業所の統合に伴う運営規程の一部改正について、通所介護事業運営規程の一部改正について、令和８年度事業計画（案）について、令和８年度資金収支予算（案）について、令和７年度第４回評議員会の開催について、苦情解決のための第三者委員の委嘱について

イ　評議員会

定時	開催日	令和７年６月２７日（金）
	場　所	栃木保健福祉センター

	議　事	会長の専決処分事項の承認について（令和６年度資金収支補正予算（第６号））、令和６年度事業報告の承認について、令和６年度決算の承認について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「大平高齢者デイサービスセンターまゆみ」運営規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会「デイサービス福寿園」運営規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会栃木市社協北部ヘルパーステーション運営規程の一部改正について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会障がい者居宅介護事業所栃木市社協北部ヘルパーステーション運営規程の一部改正について、役員の改選について
第２回	開催日	令和７年１０月２４日（金）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	会長の専決処分事項の承認について（令和７年度資金収支補正予算（第１号））、令和７年度資金収支補正予算（第２号）について、訪問介護等事業所の統合について、特定相談・障害児相談支援事業の廃止について
第３回	開催日	令和８年１月８日（木）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和７年度資金収支補正予算（第３号）について、権利の放棄について、役員の選任について
第４回	開催日	令和８年３月２３日（月）
	場　所	栃木保健福祉センター
	議　事	令和７年度資金収支補正予算（第４号）について、社会福祉法人栃木市社会福祉協議会就業規程の一部改正について、訪問介護等事業所の統合日の変更について、訪問介護等事業所の統合に伴う事業所及び運営規程の廃止について、訪問介護等事業所の統合に伴う運営規程の一部改正について、通所介護事業運営規程の一部改正について、令和８年度事業計画（案）について、令和８年度資金収支予算（案）について、苦情解決のための第三者委員の委嘱について

ウ　監査

開催日　　令和７年５月２６日（月）

場　所　　栃木保健福祉センター

内　容　　令和６年度事業報告、収支決算について

エ　評議員選任・解任委員会

開催日　　令和７年６月１３日（金）

場　所　　栃木保健福祉センター

内　容　　評議員の選任について

開催日　　令和７年１２月２２日（月）

場　所　　栃木保健福祉センター

内　容　　評議員の選任について

オ　事務局会議

開催日　　原則毎月第３月曜日（年１２回　うち、拡大事務局会議２回）

場　所　　栃木保健福祉センター

カ　経営改善プロジェクトチーム会議等

経営改善を図るため、課長以上の管理職に一部係長を加えた職員で構成されるプロジェクトチームを設置し、定期的に会議を行った。またプロジェクトチームの下部組織として、全正職員を対象にしたワーキンググループ（組織強化・財務強化・事業強化の３部会）を置き、部会ごとに会議を行った。さらに、経営安定化計画推進の迅速化及び本会の運営上重要な案件で緊急性を要するものの早期着手解決を目的とした重点テーマ別検討部会を開催し、懸案の事業等の方向性を協議検討することで共通認識を図った。

キ　係長会議

各部署の係長による定期的な会議を行い、情報共有や協議事項を検討することで各部署間の連携を図った。

（２）社協会員の募集（法人運営課、各支所）

住民参加の促進と地域福祉の充実のため実施している「社協会員制度」について、自治会や地区社会福祉協議会の協力を得て、次のような実績を上げた。

（普通会費１口５００円、特別会費１口３，０００円）

ア　普通会費

合計件数　　３６，４０３件

合計口数　　３６，７５２口

金　　額　　１８，３７６，９００円

【内訳】

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
加入件数	15,006 件	8,195 件	4,148 件	3,057 件	1,402 件	4,595 件
加入口数	15,283 口	8,195 口	4,148 口	3,057 口	1,474 口	4,595 口
金　額	7,641,900 円	4,097,500 円	2,074,000 円	1,528,500 円	737,400 円	2,297,600 円

イ　特別会費

合計件数　　１，４０７件

合計口数　　１，５１２口

金　　額　　４，５５２，５００円

【内訳】

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	全域
加入件数	1,134 件	39 件	42 件	46 件	53 件	91 件	2 件
加入口数	1,162 口	44 口	49 口	71 口	64 口	120 口	2 口
金　額	3,491,000 円	132,000 円	151,000 円	216,000 円	194,500 円	362,000 円	6,000 円

（３）寄附金の受け付け（法人運営課）

本会運営資金の確保や住民参加による地域福祉の推進を図ることを目的に、各種寄附金を受け付けた。また、福祉基金の利息を地域福祉事業に活用した。

区　分	件　数	金　額
福祉基金	７７件	２，３６９，４５４円
マイクロバス	４１件	２５５，０００円
生活困窮	１８件	７２０，８２１円
一般物品	１６件	－
生活困窮物品	１８０件	－
計	３３２件	３，３４５，２７５円

（４）専門性の高い課題への対応強化（各課・各支所）

職員の資質向上を図るため、栃木県や栃木県社会福祉協議会、栃木市などの外部の機関が実施する研修会や講習会に職員が参加した。

（５）市施設の指定管理

ア　老人福祉センターの管理運営（福祉サービス課）

地域の高齢者に明るく健康的な日々を過ごしていただけるよう、福祉・介護相談や各種講座の開催、レクリエーションの場の提供など、高齢者の健康増進や教養の向上を図ることを目的に、指定管理者として２か所の老人福祉センターの管理･運営を行った。

また、職員の資質向上のため、長寿園、福寿園合同で普通救命講習会Ⅰ、感染症予防訓練を開催した。

【利用状況】

	長寿園	福寿園
開園日数	２９６日	２９６日
延べ利用人数	２９，４１３人	１５，２８３人

【延べ利用人数の内訳】

	長寿園	福寿園
当日券利用６０歳以上	６，３６９人	２，５０１人

一　　般	３９７人	４０人
市外居住者	４６人	３９人
回数券利用６０歳以上	１３，５３２人	５，２１０人
一　　般	２１９人	１７３人
市外居住者	８２人	０人
減　免　者	３，５７４人	４，５９４人
障がい者等	４，６７９人	２，００８人
小学生以下	３２９人	４７８人
団　　体	０人	２１３人
どまんなか協定該当者	１８６人	２７人

無料開放日利用者(県民の日、敬老の日等)	２２６人	１２２人

【主な事業】

		長寿園	福寿園
マッサージ	実施日数	２９６日 ※フットマッサージ	２９６日
	延べ利用人数	５，０７７人	２，５０７人
ヘルストロン	実施日数	２９６日	２９６日
	延べ利用人数	３，３６０人	１，６５１人
健康・介護相談	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	１６人	１５人
地域の包括的な相談支援（継続）	実施日数	随時	随時
	延べ利用人数	３１人	０人

【長寿園】

事業名	内　容	回数	延べ利用人数
自律神経を整える運動	体操及びストレッチ	２２回	４３７人
こつこつ楽しく貯筋体操	転倒予防体操	２２回	４３１人
運動＋脳トレ体操教室	運動しながら脳トレーニング	２２回	４２０人
ヨガ教室	ヨガ体操	２２回	４０６人
はじめての英会話	英会話教室	２２回	１８８人
楽しく踊ろう会	ダンス	６回	２９１人
リズム脳トレ	音楽に合わせた対応	６回	１８７人
世代間交流事業（そのべ児童館との交流）	運動会	１回	４人
防災キャンドル作り講座	防災キャンドル作りによる防災講座	１回	３人
折紙教室	折紙、くす玉作り	２回	７人

縫物講座	暖簾作り	３回	１２人
高校生おもてなし講座 （とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会と協働）	石鹸作り、配付、灯篭作り	３回	１４人
絵馬づくり講座 （とちぎ蔵の街シニアクラブ栃木支部と協働）	馬の絵馬作り	１回	７人
合同カラオケ大会 （老人福祉センター福寿園と合同）	県民の日を記念してカラオケ大会を開催（長寿園は6月１５日開催）	１回	２０人
モルック大会 （栃木商業高校協働）	モルック体験、熱中症予防講座	１回	１９人
弾き語りコンサート	ボランティアによるクリスマスコンサート	１回	１９人
新春福引き （老人福祉センター３園合同）	福引き（１月４日）	１回	１００人

【福寿園】

事業名	内　容	回数	延べ利用人数
ロコモティブシンドローム予防運動教室	加齢に伴う運動機能低下を予防するための筋力アップ教室	１２回	１３１人
コグニサイズ教室（前期）	運動と脳のトレーニングを組み合わせた認知症予防教室	１２回	１６２人
コグニサイズ教室（後期）	運動と脳のトレーニングを組み合わせた認知症予防教室	５回	９４人
フレイル予防教室（前期）	加齢による心と体が弱った状態（フレイル）を予防する運動教室	１２回	１２８人
フレイル予防教室（後期）	加齢による心と体が弱った状態（フレイル）を予防する運動教室	５回	１２７人
筋力アップ教室（前期）	転倒予防等のために筋肉の構造を知って筋力トレーニング	１２回	２１７人
筋力アップ教室（後期）	転倒予防等のために筋肉の構造を知って筋力トレーニング	５回	９８人
ビンゴ大会	センター利用者でビンゴを楽しむ	２回	１８人
市内福祉施設商品紹介事業	施設が販売するパン等を紹介する	８回	―
甘酒ふるまい	１２月３１日に甘酒を無料配布	１回	５０人
合同カラオケ大会 （老人福祉センター長寿園と合同）	県民の日を記念してカラオケ大会を開催（福寿園は6月２７日開催）	１回	５８人
千塚小町探検受入	２年生の施設体験	１回	６人
大正琴鑑賞会	大正琴サークル鑑賞会（6/19）	１回	１９人
フラダンス鑑賞会	集会室での鑑賞会（6/30）	１回	２１人
オカリナ鑑賞会	集会室での鑑賞会（7/28）	１回	１９人
ハーモニカ・腹話術鑑賞会	集会室での鑑賞会（7/29）	１回	２４人

ハーモニカ鑑賞会	集会室での鑑賞会（10/6）	１回	２５人
元気アップ教室協力	吹上地域包括支援センターが開催するシニア向け教室への協力	６回	１０２人
新春福引き （老人福祉センター３園合同）	福引き（１月４日）	１回	６４人
おれんじ喫茶ふくじゅ (認知症カフェ)開催協力	認知症の人だけでなく、誰でも安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、地域のボランティアが開催する認知症カフェへの協力を行った。	１２回	２４８人

イ　栃木市そのべ児童館の管理運営（福祉サービス課）

児童に健全な遊びの場を提供し、健康増進や情操豊かな心を育むことを目的に、各種事業の計画的な実施や利用促進のためのＰＲ活動に努めるなど、指定管理者としてそのべ児童館の管理・運営を行った。

【利用状況】

開館日数	２９５日			
利用人数	８，３６６人			
内訳				
幼　児	３，１９７人	大人（保護者）		３，０３５人
小学生（１年生～３年生）	５９７人	団体	子ども	０人
小学生（４年生～６年生）	８１２人		大　人	０人
中学生以上	７２５人			

【主な事業内容】

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぺたぺたひろば(１２回)	１７４人	子育てハッピーアドバイス	４０人
きねんび☆photo（１２回）	１３８人	ビンゴ大会	６４人
親子ビクス（１０回）	１８８人	クリスマスの飾りを作ろう	１７２人
おひさまクラブ（１１回）	１９１人	新春福引き	７８人
おはなしの玉手箱(１２回)	５９人	敬老の日のプレゼント作り	１８８人
クリスマスフルートコンサート	２９人	陶芸小物作り	２５人
夏まつり	２３０人	その他の事業（１８事業）	１，５３２人
栃女生勉強お助け隊	２９人	合　計	３，１３７人

ウ　栃木市栃木第六地区コミュニティセンターの管理運営(福祉サービス課)

市民の自主的で個性的なコミュニティ活動の推進を図るため、指定管理者として施設の管理・運営を行った。

開館日　　３６０日

延べ利用団体数　１，００８団体

延べ利用人数　　９，４７８人

エ　藤岡地域活動支援センターの管理運営（福祉サービス課）

障がい者に対する創作的活動や生産的活動の機会の提供、日常生活に必要な社会性の訓練、社会との交流促進事業など、障がい者の自立した生活を支援することを目的に、指定管理者として地域活動支援センターの管理・運営を行った。

【利用状況】

実利用人数	１５人
開館日数	２４１日
延べ利用人数	１，６３０人
１日平均利用人数	６．８人

【主な行事等】

農業体験（ふれあい農園事業）	そば打ち体験	かき氷・珈琲出店
作品展	いちご狩り	高齢者サロン訪問
藤岡ふくしまつり出店	調理実習	買物訓練
創作活動	謝恩会	機能回復訓練
広報活動用グッズ作り	外出訓練	障がい施設見学会
花見	ウォーキング大会	クリスマス会
ひな祭り	お楽しみ会	防犯・防災講座
グリーンカーテン制作	内職作業	バーベキュー会

オ　大平地域福祉センター（ふるさとふれあい館）管理運営（大平支所）

指定管理者として、施設の管理・運営を行った。

利用団体　　７０団体
利用回数　　１，７０７回
延べ利用人数　１３，７３９人

7　共同募金への協力

自治会等の協力を得て、次のような実績を上げた。

（１）赤い羽根共同募金（法人運営課、各支所）

目標額　　１４，９３８，０００円
実績額　　１４，２３５，７８５円

【募金内訳】

	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合　計

自治会	4,822,821円	2,379,400円	1,228,000円	911,300円	498,150円	1,397,970円	11,237,641円
法人募金	747,522円	284,500円	218,000円	258,000円	69,000円	454,639円	2,031,661円
学　校	171,901円	28,352円	16,456円	34,735円	12,935円	53,847円	318,226円
その他	288,718円	62,512円	11,402円	10,457円	176,695円	98,473円	648,257円
合　計	6,030,962円	2,754,764円	1,473,858円	1,214,492円	756,780円	2,004,929円	14,235,785円